IBS Japan × MOXA
Reliable Networks ▲ Sincere Service

医療：人工透析装置　モニタリング&データ管理

導入事例

データの双方向通信のために シリアルデバイスサーバを導入

導入業界

医療：人工透析装置

導入目的

人工透析データシステムとの
通信接続とモニタリング、
データ記録

とある病院では、人工透析装置のデータマネジメントシステムへの接続と、処置中の患者のモニタリング、患者データの記録・保管を行うために双方向のデータ通信環境が必要だったため、Moxa のシリアルデバイスサーバ『NPort W2150A/5110』を導入しました。導入した結果、患者の血圧や脈拍、呼吸や体温といったバイタルサインをデータマネジメントシステムへ転送可能となり、病院内の部門間でデータを共有することができるようになりました。

導入の狙い

- **装置によって有線 / 無線接続をしたい**
- **簡単にインストール、コンパクトな設計**

導入製品

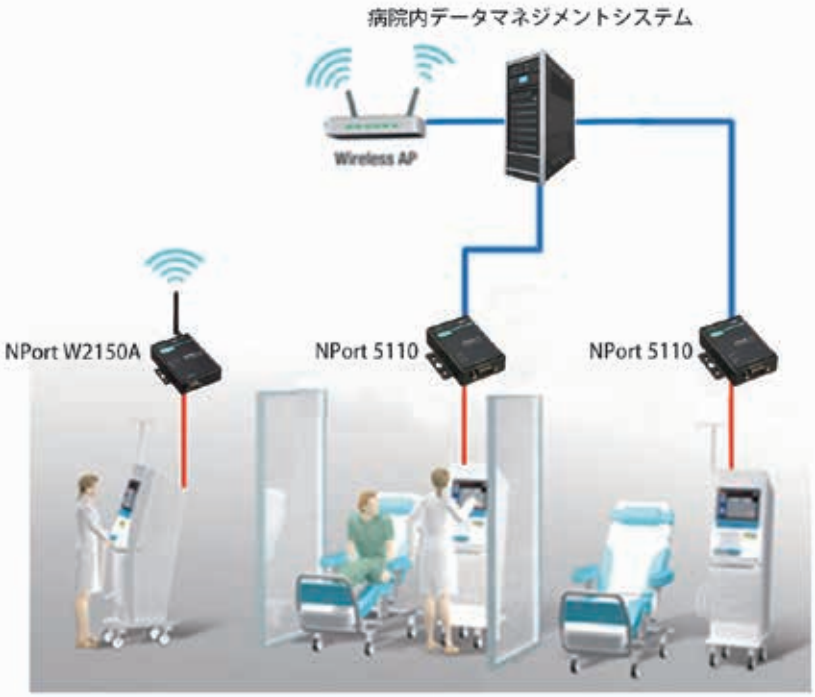
NPort W2150A
1ポート RS-232C/422/485
ワイヤレス接続
シリアルデバイスサーバ

NPort 5110
1ポート RS-232C
シリアルデバイスサーバ

導入効果

- **有線と無線のシリアルイーサネットソリューションが可能**
- **モニタリングとトラブルシューティングのユーティリティを含む**

システム構成図



シリアル
イーサネット

導入製品の仕様

NPort W2150A		
メカニカル	筐体	アルミシートメタル（1 mm）
	重さ	547 g
	サイズ	耳またはアンテナなし：77 × 111 ×26 mm 耳付、アンテナなし：100 × 111 × 26 mm　アンテナ長：109.79 mm
温度対応	動作温度	標準モデル：0 ～ 55℃　Tモデル：-40 ～ 75℃
	保管温度	-40 ～ 75℃
	相対湿度	5 ～ 95% (結露なきこと)
信頼性	MTBF（平均故障間隔）	383,187時間
NPort 5110		
メカニカル	筐体	メタル
	重さ	340g
	サイズ	52 × 80 × 22 mm (取付金具なし)　75.2 × 80 × 22 mm (取付金具付)
温度対応	動作温度	0 ～ 55℃　Tモデル：-40 ～ 75℃
	動作湿度	5 ～ 95% RH
	保管温度	-20 ～ 85℃
信頼性	MTBF（平均故障間隔）	279,122時間

詳細につきましては「IBS Japan」で検索!

IBS Japan　検索

お問い合わせはお気軽に info@ibsjapan.co.jp までお願いいたします。

※ 掲載されているイラスト・画像についての著作権は各社メーカに帰属します。
※ 記事内容（日本語翻訳分）についての著作権はアイ・ピー・エス・ジャパン株式会社に帰属します。
※ 製品内容・製品仕様は、予告なく変更いたします。最新情報については、お問い合わせください。

IBS-201703-Moxa-42

IBS Japan

■ 厚木センター
〒243-0432　神奈川県海老名市中央2-9-50　海老名プライムタワー12F
TEL：046-234-9200　FAX：046-234-7861

■ 東京システムセンター
〒153-0043　東京都目黒区東山1-2-7　第44興和ビル9F
TEL：03-3713-8944　FAX：03-3713-8931

■ 大阪営業所
〒541-0052　大阪府大阪市中央区安土町2-3-13　大阪国際ビルディング31F
TEL：06-4708-6126　FAX：06-4708-6127